

無尽集(毛利家文庫16叢書40(89の26))(左)・毛吹草(小田家文書(柳井市金屋))和漢102(右)

## 防長両国の名物を聞かれたら？

### 《寛文7年の巡見使への対応》

寛文7年(1667)、幕府は全国の施政や人々の暮らしぶりを査察するために、全国へ巡見使を派遣しました。

各藩にとって、巡見使の受け入れは非常に気を遣うもので、「無尽集」(毛利家文庫16叢書40(89の26・27))には、この時の萩藩の対応の様子が詳しく記されています。

巡見使は、およそ2週間をかけて藩内を視察しますが、その間に巡見使から出される質問に対し、あらかじめ回答を用意しておくことも大切な準備の一つでした。

質問事項は、「国中仕置御尋之事(藩内政治に関する質問について)」から始まり、石高、日照りや水害による被害の様子、郡数・村数・人口・牛馬数など多岐にわたっています。

### 《防長両国の名物を聞かれたら？》

上の写真(左)は、国の名物についての質問に対する模範回答です。

#### 一、国之名物御尋之事

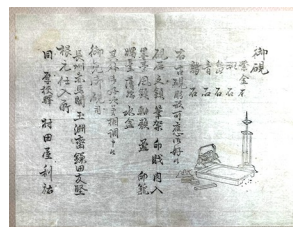
此段、赤間関之硯、船木之櫛、此二色ならて八、名物と申なら八したるもの無御座事

訳：このことについては、赤間関の硯と船木の櫛。この二品以外のものを名物と呼ぶ慣わしはございません。

防長両国の名物として、赤間関の硯と船木の櫛(以下、「赤間硯」・「船木櫛」と表記)があげられており、江戸時代初期における萩藩の名物が窺えて、興味深いです。

赤間硯は、今なお、山口県を代表する伝統工芸品として生産が続けられており、その技術保持者の堀尾信夫氏(下関市)は山口県の無形文化財の指定を受けています。

船木櫛は、セルロイド製の櫛に押されるなどして、昭和中期に生産を中止しますが、藩政期から明治期にかけては、櫛職人や櫛問屋の数も多く、隆盛を極めました(船木は現宇部市)。



赤間硯の引き札  
(塩田家文書1173)

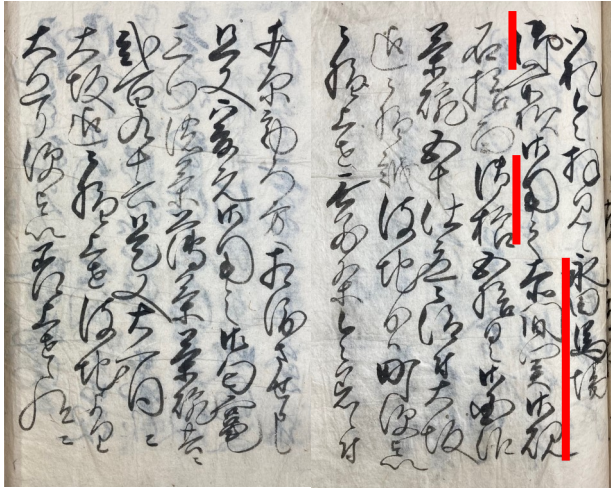
赤間硯の引き札(広告)です。硯司は赤間関の玉淵齋鎌田友堅、硯石の仕入れ業者は厚狭の村田屋利祐です。

黒一色の引き札で、この引き札から、硯ばかりでなく、文鎮ほか、様々な文房具を扱っていたことが分かります。

《『毛吹草』(けふきぐさ)》

『毛吹草』は、正保元年(1644)に刊行された俳諧の手ほどき書です(前頁写真(右))。著者は松江重頼(江戸時代初期の俳人)です。

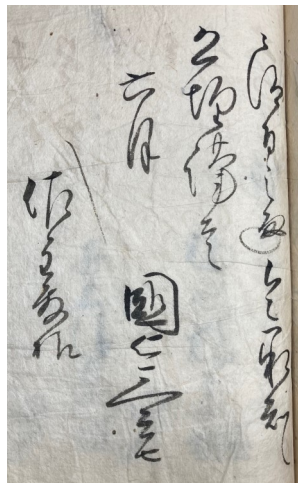
巻4に諸国の名物が列挙されており、長門国の名物として「紫硯」(赤間硯)と船木の「櫛」が見えます。船木櫛については「太閤サツマ入之時、天下一二号ス」との伝承が書かれています。



《贈答品として》

上の写真は、元禄10年(1697)、当役国司与三兵衛から、当職佐世主殿にあてた書状です。

「永田馬場御前様」(2代萩藩主綱広の次女品姫)の用命により、赤間硯10面、櫛50具、茶碗50個が萩から江戸へ送られ、それらが無事、到着したことを告げています。櫛は船木櫛、茶碗は萩焼と考えられ、数量からして、贈答品として使われたのでしょう。永田馬場御前様は村上藩主内藤弑信に嫁い



御札令拝見候、永田馬場御前様御用之赤間硯御硯石拾十面・御櫛五拾十具・御国作茶碗五十仕立被仰付、大坂迄被指越、彼地を八町便を以被指上せ、無別条令着候付、井原勘右衛門方へ相渡させ申候、且又爰元御用之御句籠三つ、濃茶・薄茶茶碗共二式百九十六、是又、右一同二大坂迄被指上せ、彼地より大廻り便を以差上せ候様二、被仰付之通令承知候、恐惶謹言  
六月 国(司)与三兵衛 佐(世)主殿様

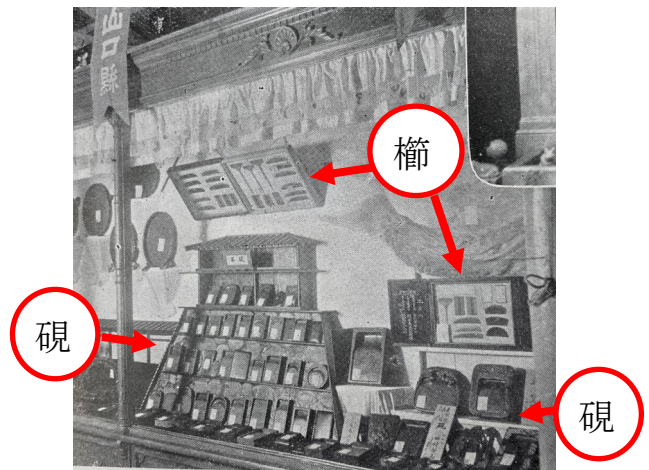
で12年が経ってもなお、実家である萩藩の名物を贈答品として使っていたのかもしれませんが(「御用状控(国司与三兵衛書状控)」毛利家文庫49状控類2(56の36))。

《近代の資料から》

このように、江戸時代初期には名物として認識されていた赤間硯と船木櫛ですが、近代に入っても、引き続き名物として重要視されています。

大正3年(1914)、東京大正博覧会が上野公園で開催されました。山口県からは63種1,695点の特産物が出品され、その展示記録として『東京大正博覧会山口県写真帖』(1910年代内務2)が作成されました。

下の写真は、その一部で、赤間硯と船木櫛が、同じコーナーに並べて展示されている様子を紹介しています。



また、下の写真は、大正13年に鉄道省が発行した『鉄道旅行案内』(山根家文書(山口市)52)です。鉄道営業案内を初め、沿線の観光地や旅行ルートなど、鉄道で旅行をする人の参考となる情報が掲載されています。吉田初三郎の手による鳥瞰図が見る人の目を楽ませてくれます。

山陽本線の解説箇所では、「船木名物」、「木櫛」とイラストで紹介されています。

